

九州大学唐津地区同窓会主催
第5回市民公開講座
「炭素材は地球を救う！」

炭素材は、炭など人類が利用してきた最も古い材料のひとつです。一方、この30年間で3回もノーベル賞を受賞し、最近のナノ材料をリードしてきた代表的な新しい材料としても知られています。さらに、将来、来るべき水素社会においても重要な役割を担う先端材料です。

今回の講座では、産業に利用されるいくつかの先端炭素材の製造と応用について、尹（ゆん）先生にわかりやすく解説していただきます。

講師

九州大学先端物質科学研究所教授

ゆん そんほ

尹 聖昊 先生

プロフィール

1959年韓国釜山市生まれ。韓国の国立ソウル大学工学部で学士および修士を取得。1991年来日、1994年九州大学総合理工学府で工学博士を収得後、九州大学で1年間助手勤務。2001年から九州大学先端物質科学研究所で助教授（准教授）、教授として勤務。

専門は（炭素）材料工学。主に、石炭・石油およびバイオマス系の座礁資源を原料とした「炭素繊維、活性炭および電池材料」等の先端炭素材料の合成・応用に関する研究に従事。現在までピッチ系炭素繊維の低価額化、製鉄用黒鉛電やLi-ion電池用負極材の性能改善およびメタン分解による水素製造時生成する副生炭素材の有効利用等の研究を活発に行っている。「人造黒鉛の構造解析に関する研究」で、2015年に炭素材料学会の学術賞、2016年に文部科学大臣賞（技術進歩賞）を受賞。日中韓の炭素技術交流と振興に寄与し、2023年に中国炭素学会から中国炭素卓越貢献賞を受賞。



日時 令和6年2月17日(土)

午後4時開演～5時20分(午後3時30分受付開始)

場所 大手口センタービル3F 市民交流プラザ多目的ホール

参加費 無料(同窓会会員には協力金を依頼)

定員80名 事前の申し込みの必要はありません。

主催 九州大学唐津地区同窓会

後援 唐津市、唐津市教育委員会

問い合わせ 九州大学唐津地区同窓会事務局 幸島 電子メール:hideno_k@kyudai.jp